

村上税務署長賞

『生活を支える税』

村上桜ヶ丘高校 2年
五十嵐 澄佳 さん

中学生の時に私は何気なく教科書の裏表紙を見ていました。すると「この教科書はこれからの日本を担う皆さんへの期待を込め税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」という文言が書かれていました。最初は、「税金でもらえているんだ」ということくらいであまり関心を持ちませんでした。でも高校に入り教材がどれだけ高価なものかを知った時、私は税金で支給されていたことがどれだけ有り難いことなのかを実感することができました。

振り返ってみると様々なところで税金は役立っています。教育や福祉。調べてみると年金、医療、消防、救急と私が知らないだけで色々なところで使われていました。自分が納税しているのは何かなと考えた時、自分のおこずかいで支払っているもので消費税がありました。小さい頃はなぜ百円均一なのに百円以上とられるのか。なぜ値札より高い値段で支払わないといけないんだ。と思っていました。でもそれは納税者の一人だからなのだと知ったとき、少し誇りに思いました。



最近だと医療に税金が使われていることに有り難味を感じます。私は数ヶ月前に胃腸炎にかかり何度か病院通いをしました。治療も受け、本来ならかなりの額がかかるはずが税金のおかげで低額で済ませることができました。もし、このようなサポートがなければ、多額の費用を出すことになり、医療を受けたくても金銭面を気にして、受診しないなどの問題が考えられ、新型コロナウイルスが流行している今、まさに有り難い制度だと思いました。

他は消防や救急などです。自分の家から出火した場合。もし税金で無償にならなければ、通報を迷ってしまい被害が大きくなる恐れがあります。救急車の場合でも同じです。以前友人が話していましたが、倒れたことがあり救急車を使用した際に、医療費と重なり、出費が不安だった中、救急車の分は税金で補われていることを知り、とても安心したと話していました。このように税金は私たちの暮らしをサポートしてくれます。意外だったのが道路整備です。春に山菜を採りに行ったときに、大きくへこんでいる道がありました。山道だったのでスピードを出しておらず事故にはなりませんでしたが、もしこれが一般道なら大事故になりかねないと恐怖を感じました。その時、母に道路も税金で整備されているんだと教わり、今まであげた例すべてが税金によって補われていて、暮らしを支援してもらっているんだと思いました。

普段の生活以外でも天災のときなども税金が使われています。東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨など日本はたくさんの天災を受けていますが、避難所や救護物資のほとんどが税金で補われています。辛い事や不安が多くあるときに、国などの自治体はしっかり助けてくれます。守ってくれます。

税は多く収入を得た人が多く納税し、低所得者は納税額が少なく済みますが、高所得者の中には脱税する人がいます。なので国税庁はしっかり取り締まり、

正直者がバカを見ないように、と行動してくださいませ。

税は「幸せ」と似ているように感じます。よく「幸せ」はめぐりめぐって自分に返ってくると言います。税金もそうです。様々な形で納税し、必要になったときは、しっかりと助けてくれます。なので当たり前なことを当たり前。納税の義務を果たし続けたいと思いました。

